

9月播種イタリアンライグラス「Kyushu 1」の熊本県における品種特性

「Kyushu 1」は耐倒伏性及び耐病性(いもち病抵抗性)に優れ、9月播種が可能である。また、9月播種により年内草を収穫でき、春2番草まで収穫することで多収が見込めることから、熊本県におけるイタリアンライグラスの品種として有望である。

農業研究センター畜産研究所飼料研究室(担当者:北浦日出世)

研究のねらい

本県におけるイタリアンライグラスについて、新たな優良品種の早急な普及を図る目的で、数年以内に市販開始予定の新品種であり、年内草を収穫可能な品種の収量性やその他の諸特性について調査し、本県の奨励品種である「さちあおば(極早生)」および「ヤヨイワセ(極早生)」を比較品種として、これと同等以上の能力を有する品種の特性を明らかにする。

研究の成果

1. 「Kyushu 1」は9月中旬に播種した場合、年内草は12月中旬、春1番草は3月下旬、春2番草は4月下旬に刈取できる。
2. 「Kyushu 1」は、比較品種と同程度以上のいもち病に対する抵抗性および耐倒伏性が期待できる(表1、表2)。
3. 「Kyushu 1」の年内草サイレージは粗タンパク質が高い傾向がある(表3)。
4. 「Kyushu 1」は年内草、春一番草および春二番草の合計乾物収量は、比較品種と同等以上の収量が期待でき、本県におけるイタリアンライグラスとして有望である(表1)。

比較品種：過去3年間の試験データに基づき、熊本県で奨励品種に指定されている品種

普及上の留意点

1. 生育状況および収量については気象・土壌環境の変化による影響を受けるため、施肥管理や適正な時期における播種を徹底すること。
2. 年内草のイタリアンライグラスを収穫する場合は余乾が進みにくいことと、硝酸態窒素蓄積の可能性があるため、サイレージ利用が好ましい。
3. 10月播種により春一番草および春二番草のみを収穫する場合は、比較品種よりも収量が少なくなる。

表1 4カ年(H26~29)の9月中旬播種生産力検定試験における収量調査の結果

刈取区分	品種	刈取時 出穂程度 1~9極多	生草収量 kg/10a	乾物率 %	乾物収量 kg/10a	いもち病 罹病程度 1~9甚	刈取時 倒伏程度 1~9甚
年内草	kyushu 1	2.3	4,250	15	528	1	3
	さちあおば	2.3	3,669	15	451	1	3
	ヤヨイワセ	2.3	4,170	15	494	1	3
春1番草	kyushu 1	4.7	4,042	14	558	1	1
	さちあおば	4.9	3,631	14	511	1	1
	ヤヨイワセ	5.3	4,184	14	585	1	2
春2番草	kyushu 1	5.0	1,799	13	231	1	1
	さちあおば	5.0	1,562	13	203	1	1
	ヤヨイワセ	5.1	1,813	13	233	1	1
合計	kyushu 1		10,092	14	1,317		
	さちあおば		8,862	14	1,165		
	ヤヨイワセ		10,167	14	1,312		

- 1) 品種間で有意差なし (p<0.05, Tukey)
- 2) 基肥はN : P₂O₅ : K₂O = 8 : 14 : 8 (kg/10a)、追肥はN : P₂O₅ : K₂O = 5 : 0 : 5 (kg/10a) 施用した。
- 3) 平成26年は9/18に播種し、年内草は12/15に調査した。
- 4) 平成27年は9/16に播種し、年内草は12/19に調査した。
- 5) 平成28年は9/16に播種し、年内草は12/19に調査した。
- 6) 平成29年は9/13に播種し、年内草は12/20に調査した。

表2 生育中のいもち病罹病程度 (1-9甚)

品種	いもち病程度
kyushu 1	2.3 ^a
さちあおば	4.0 ^b
ヤヨイワセ	2.3 ^a

- 1) 調査日 2017年10月17日
- 2) 異符号間で有意差あり (p<0.05, Tukey)

表3 現地試験における年内草サイレージの栄養成分

	水分	乾物中 (%)				
		粗タンパク質	粗脂肪	NFE	粗繊維	粗灰分
Kyushu 1 年内草サイレージ	69.4	14.5	2.5	41.5	23.3	18.2
イタリアンライグラスサイレージ (1番草・出穂期)	73.2	13.8	4.9	40.7	31.7	9.0

- 1) 播種は平成29年9月4日に実施。
- 2) 刈取りは平成29年12月18日、収穫は平成29年12月20日に実施。
- 3) 開封・採取は平成30年2月28日に実施。
- 4) イタリアンライグラスサイレージ(1番草・出穂期)は日本標準飼料成分表(2009年版)から引用。